

MOVE

Momoyama Volunteer Express



私たちがボランティア活動を始めた理由
～興味があれば、一歩踏み出してみませんか？～



今年、活動を始めた方 & 在学中活動を続けてきた方にインタビューを行いました！



大学に入学して、「何かしてみたいけど・・・」と思いながら、実行に移せず・・・という方もいらっしゃると思います。

クラブ、サークル、アルバイト・・・そこに選択肢として「ボランティア活動」も考えてみませんか？

そこにこれまでになく「出会い」・「気づき」・「やりがい」が待っていると思います。

「ありがとう！」と 言ってもらえる喜びを心から実感



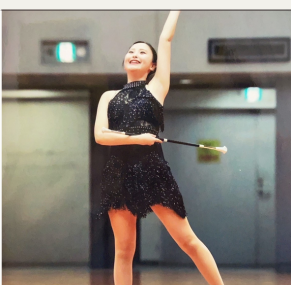
桑木 彩良

2023年入学

社会学部 ソーシャルデザイン学科

入学と同時にボランティアサークルに加入し、活動中

私が大学でボランティアを始めてみようと思ったのは、大好きな子どもに関わりたかったこと、思っていたことがきつかけです。入学して右も左も分からず困っている時に、「何でも相談コーナー」という新入生が先輩学生に相談できるイベントに参加したことがきっかけになりました。対応してくれた先輩がボランティアサークルの方で、話を聞いて興味を持ちました。



高校時代は全国優勝するほど、バトンに打ち込みました。

5月、初めて参加したボランティアでは、地域のイベントで綿菓子づくりを担当しました。たくさんの方の方や子どもたちと関わる中で、「ありがとう！」と言ってもらえる喜びを心から実感しました。



サークルでは、友達も作ることができました。

8月には、日帰りのキャンパスイベントにも参加しました。ここでもたくさんの子どもたちと一緒に遊び、「また明日も遊んで！」と言われるくらいでした。普段の生活では出会うことのない方たちとたくさん出会うことができ、感謝されたり関係を深めることができました。ボランティアに参加することの醍醐味を日々感じています。



大好きな子どもに関わることで、大学生活を楽しんでいます。



初めて参加したボランティアでは子ども向けに綿菓子づくりを担当

「個人の問題ではなく社会全体の問題だ」と思うように



浅羽 大地

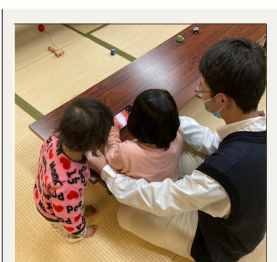
2020年入学
社会学部 社会学科

学習支援「いっほ」（特定非営利活動法人
ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝）にて活動中

私がボランティアと出会ったのは、高校生の時です。通う高校に「ボランティア部」があり、人と話すことが好きで、「面白そう」と思い入部しました。そして、その時に立ち上げから関わっているのが、今も続けている学習支援の活動です。

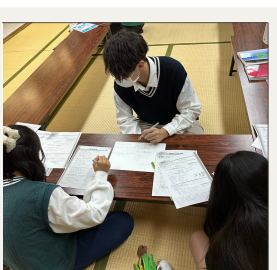
最初は「子どもたちに勉強を教えるのがかな」という印象でしたが、参加してみると子どもたちの居場所づくりだということが分かり、続けていくうちにやりがいを見出している自分になりました。

子どもたちが抱える問題やそれぞれの子の背景を知っていくうちに、



子どもたちと関わる中で自分も勉強になっています。

就職活動を行う上でも、自身のボランティア経験がとても役に経ちました。面接等で自分の事を自信を持って伝えていけましたし、ボランティアをする中で対話の大切さを意識していたので、会社の方とやり取りする中でも活きたと思います。



コミュニケーションを自分なりに工夫し伝えるよう頑張っています。



時には、イベントの運営を行うこともあります。

これは「その子個人の問題ではなく、社会全体の問題だ」と思うようになりました。そして、子どもたちが大人と対話ができ、社会と関われるこの場所の必要性を強く感じました。来春からは、会社員になり子どもたちと関わる時間が少なくなりますが、子どもたちの問題を少しでも解決したいので、いつか自分でも、子どもたちの居場所づくりを行いたいと思っています。

今、後輩の方たちに伝えたいのは、「自分の興味のあること、やりたいことをガッツリできるのは学生時代しかない！」ということ。迷っているならどんなことでも積極的に行動に移してほしいです。その一歩が、

自分の自信にも繋がる、と、私自身、身を持って実感しています。どんな活動であっても、自分で考えてアクションを起こせば、絶対に学びが得られると思います。社会に出ても、その経験が行動を起こす原動力になるはずですので、勇気を出して一歩を踏み出してみてください！

2023年度 桃大生が参加したボランティア紹介

Volunteer



桃大学食「La pêche」こども食堂

子どもたちが夏休みの期間などに、桃大の学食を開放してこども食堂を開催しています。その運営に携わるボランティアを桃大生や桃教大生が担当しています。



ももやまキッズランド

アイ・あいロビー（和泉ボランティア・市民活動センター）と協同で開催しています。普段あまり接する事のない大学生と遊びながら、地域のつながりを深め、活性化に繋がっています。

ボランティア参加についての相談は随時受け付けています。聞いてみたいことがあれば、遠慮なくボランティア活動支援室（聖ペテロ館2階）までお越しください。

メールでの連絡も大歓迎です。mgvb21@andrew.ac.jpまで、お気軽にご連絡ください。



NPO法人西淀川子どもセンター

「子ども達と夕方の時間を一緒に過ごす」活動を主に行われており、一緒にご飯を食べたり、一緒に勉強したり遊んだり・・・子どもたちの「やってみる！」を応援する活動をされています。



環境に関するボランティア活動

和泉中央駅付近に設置されている花壇の水やりや付近の清掃活動に参加したり、学内に緑を増やす活動（チューリップ植付け）なども実施しています。

